

7月九州北部豪雨への災害対策部活動報告

日時：7月10日～7月17日

参加者：理事（大内田、吉永、大森、古賀）

委員（清武、本村、吉田、山田、吉岡、吉武、副島）

○活動内容

7月10日未明より降り続いた大雨は福岡県にも甚大な被害をもたらしました。線状降水帯が発生し500mmを越す記録的な大雨により大雨特別警報が発表され、ニュースでは田主丸地区の病院（会員所属）が浸水したという情報を受け、10日10時災害対策本部立ち上げました。迅速に災害情報収集・整理および会員の安否確認、災害への警戒案内を行いました。

翌11日被災病院の会員と連絡が取れ、現地では1階が20cm浸水しヘドロだらけだったそうです。入院患者を1階から2階へ移送、水道が使えず水洗トイレが使用できない、掃除が進まない、一部停電し極暑のなかエアコンの使用ができない、調理もできないため食事は非常食を提供しているという状況。リハビリスタッフは院内に流れ込んだ土砂などの清掃や病棟の応援など行っていたそうです。

この悲惨な状況を受け、災害対策部では被災地支援を行う方針とし、ST訓練で使用できる口腔ケア用品やとろみ剤（災害対策用備蓄）、掃除用品（被災施設HPにて不足物資の提

供依頼があった品物) を 12 日現地配送行いました。その後市民ボランティアなどの支援もあり、被災後 1 か月経った現在では概ね復旧ができ診療もどうにか行えているそうです。

近年では、毎年のように豪雨や台風、地震などの災害が我々の身近で起こっています。

県士会では 2019 年に災害対策委員会を設置し、県内での災害への備えと災害派遣支援の体制づくりを行っております。2022 年には福岡 JRAT (災害リハビリテーションチーム) が組織化されました。また福岡県理学療法士会、福岡県作業療法士協会との三士会合同事業として災害対策研修会を今年度から開催予定です。

災害はいつ、我々を見舞うかわかりません。平時の時から備えを行っていきましょう。

県士会では、有事の際会員のご不安が少しでも軽減できるよう災害対策の体制構築を続けていきます。今後とも活動へのご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

支援物資

7/13 の状況



社会局 災害対策部 古賀 翔